

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第 135 号

2012年 1月 1日発行

発行責任者：横井正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

年 2 回発行

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://www.18.ocn.ne.jp/~kobusiza/

主な内容

- (1) 新年のごあいさつ
- (2) 一般公演の様子(寄稿)
- (3) 旅のスケッチ「公演編」
- (4) 年女、…語る一。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い致します

二〇一二年 元旦

特定非営利活動法人(NPO法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同



(金城公雄・絵)

理事長 横井正人 (座員)

理事 中尾雄児 (座員)

理事 計良 徹 (座員)

監事 金城公雄

計良正子 (座員)

横井ひとみ (座員)

松岡智恵美 (座員)

村田さつき (座員)

橋本かおり (職員)

岩島 司

岡部幸人

梶原康男

國田修司

西東英範

志賀松 晋

志賀松智恵美

古川喜美子

三浦恒雄

三浦芙美子

新年のごあいさつ

理事長 横井正人

新年あけましておめでとうございます。

昨年賜りましたご支援に心からお礼申しあげます。

お陰様でみんな元気に、年を越すことが出来ました。

今年はその幸せを、今までにない想いでかみしめています。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から十ヶ月。

今尚、厳しい生活を強いられながら、復興に励む被災地の方々のことを思うと胸が痛むばかりです。

昨年は、「民族芸能を通して東北と北海道の心を繋ぎ、復興支援の連帯の輪を広げていく」ことを制作方針に掲げ活動を展開してきました。

震災直後の三月十四日の札幌厚別公演を皮切りに、八月には地元函館で後援会主催による復興支援公演を行い、秋からは全道各地を巡業してまわりました。

北海道に住む私たちに何か出来ることはないかと行動を起こした多くの方々の善意と勇気によって、公演は創られていきました。人と人との繋がり、絆とは：公演を重ねる度に、こぶし座の役割は何なのかを問われ、考え続けた一年でした。

福島原発事故の収束宣言、復興財源に名を借りた消費税の増税、不透明なTPP交渉参入、米軍普天間基地の移設問題、社会保障費の負担増等々、これらは政治・経済・社会のあり方、つまり人間の生き方そのものが問われていることなのです。

しかし、産業界にどっぷりと浸かっている政治家たちには、故郷を奪われ過酷な生活が続ける避難民の姿も、格差社会の歪みの中で閉塞感にあえぐ国民の姿も、全く見えていないのでしょうか。今こそ私たち一人ひとりが意思を持ち、「自らと仲間のために」、そして「子ども達と未来の生命のために」連帯の絆を深め、怒りを持って行動しなくてはと思うのです。

民族芸能には、混迷する時代に希望を生み出す力が内在している。私たちが信じています。その力を糧に、皆さんと共に歩み続けてまいります。

皆さんのいっそうのご支援を心よりお願い申し上げ、新年のごあいさつと致します。

昨年から一般(巡業)公演は、一ヶ月間にも及ぶ長期間の行程でした。

この間、11月11日の木古内町公演をスタートに、一市十一町一村一カ所での一般公演や施設訪問公演ほかを行いました。どの開催地でも、我が町を愛おしく思い行動する方々との新たな出会いと絆が生まれ、たくさんの方の勇気をいただきました。

「こぶし座」の公演の

一夢

「こぶし座観劇会」より

事務局局長 西野 誠

30年前に出会ったこぶし座オルグの中尾さん。それから幾晩、酒を酌み交わしたかは覚えていない。それでも確かに2人は好青年から美しい初老になれた。と思っている。久々に氏が比布町公演の話をもつて我が家に飲みに来てくれた。

この町に終の棲家をもつて12年。これまでは出稼ぎで他町の教員だったが、今は「我が町の学校の先生。」

以前から「この町の暮らしを楽しみたい。何かないか。」と考えていた矢先のお話だけに「待ってました！」と飛びつく。

『この町に住むこと、生活すること、他の町のイベントで楽しむのではなく、楽しみを「我が町」でつくりませんか?』と実行委員長に口説いた酒屋の若旦那。

これが、又いい男で、その仲間達はお祭り・御輿・盆踊りにビールパーティーを仕切る若旦那。この町に対する熱い思いが集まった。

その名も『より』。「人が寄り集まる、縄を繕る」そんな思いをこめた、楽しい人生・生活を考える仲間が8月の夕方に集まった。

自分以外は「こぶし座」のことは知らない。30年前は考えられなかった you tube の上演鑑賞会。「なるほどね・・・。」と今ひとつの反応。

「ひらったく言うとき、日本人のソウルミュージック&ダンスのライブなんだよ。幼児からお年寄りまで楽しめる舞台だよ。」と何度も語る。

* 舞台は近づく、チケットは売れず。でも老人養護施設での出前公演や公演受け付けで東日本大震災への募金呼びかけなどのアイデアは続々でてくる。

「これが良いのだ!」「願ったとおりの雰囲気だよね!」「売り上げより、この雰囲気大切にしようよ。」と事務局の話。でも、互いに心のなさは「赤字にはしたくない!。」と考えていたのは確か。



『より』有志の「江差のもちつきばやし」

「餅つき離子」の練習は計4回。「本当にできるのかあ!」「おれ、覚えられない。」と言いつつ、どんどん増していくやる気と熱気。総練習で本当に餅をついて食べる。下準備は気の利く女衆が準備をしてくれる。

そして「こぶし座」公演当日。開場前からゾクゾクあつまる方々。文字通り老若男女の熱気が立ち上がっている。同じ学校に勤めるお父さん教師が「すごいスね。」とつぶやく。「この町で、酒抜きで、

200枚のチケットが売れるのはすごい事なんですよ。」と役場の青年。

そして開演。自分も5年ぶりの観劇。毎回、円熟味がまじり舞台。笑いがこぼれ、手拍子が湧く客席。そして、実行委員会の「餅つき離子」。緊張したが楽しかった一瞬。やがて閉幕。会場を後にする笑顔と笑顔。「たのしかったよ!」の声に実行委員の「ありがとうございました。」の声も大きくなる。

* すぐに打ち上げ。乾杯のあと盛り上がる会話。「餅つき離子を『より』のもちネタにしよう。」「眠っている獅子頭がある。獅子舞も復活させよう!」夢は広がり、盃はすすむ。この仲間とこの町でどんな夢を見てゆけるのか。

まずは「こぶし座」が見せてくれた一夢、花開と相成りましたこと、まずはご報告と感謝申し上げます。



笑顔と笑顔の送り出し 「感動...!」

【1~3月の公演日程/予定含む】

＜一般公演＞		2/01(水)	札幌・柏葉保育園
2/24(金)	浦幌町	02(木)	札幌・石山保育園
26(日)	陸別町		札幌・くまの子保育園
3/04(日)	豊頃町	03(金)	札幌・川沿保育園
06(火)	大樹町	04(土)	札幌・桑園保育所
07(水)	更別村	07(火)	八雲・国の子保育園
10(土)	札幌市中央区幌西	14(火)	札幌・菊水上町保育園
15(木)	当別町	3/13(火)	札幌・しせいかん保育園
17(土)	札幌市拓北あいの里	＜特別公演＞	
18(日)	札幌市北区新琴似	1/02(月)	棒二森屋初売り
20(火)	石狩市厚田	05(木)	帯広市・全市の学童保育所
21(水)	江別市	15(日)	肢体不自由児者父母の会
＜保育園公演＞		2/15(水)	当別町・施設訪問公演
1/10(火)	つくしの保育園		石狩市・施設訪問公演
11(水)	高砂保育園	25(土)	陸別町・施設訪問公演
12(木)	青い鳥保育園	＜講座講習＞	
1/13(金)	つくみ保育園		・陣川町会太鼓講習 1/9,13
30(月)	札幌・澄川保育所		・人見保育園太鼓講習 1/13,2/6,22,3/1
31(火)	札幌・北の星白石保育園		

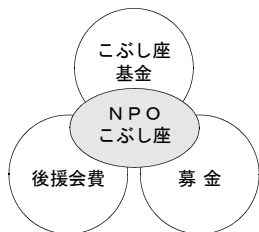
※会場や開催時間・料金等の詳しいお問い合わせは、こぶし座本部事務局まで…。

「こぶし座」の活動を

あなたの力で支えて下さい!

- 非営利の文化活動への財政支援のお願い -

【こぶし座を支える三つの支援形態】



《こぶし座基金》
・預託金額は、1口1万円から100口まで無利息です。
・期間：5年間(返還請求がない場合は1年ごとの自動更新)

《こぶし座後援会》
・会費は、年間1口2,000円から何口でも。
・現在の会員数は、全国に729名。

《募金》
毎年、大勢の方から寄せられる温かい善意に支えられています。

活動継続のためにご協力下さい

「こぶし座 in 木古内」
を終えて：
実行委員会事務局長
太田富士子

二〇一一年十一月十一日
「こぶし座 in 木古内」を盛
会裏に終えることができた。

私は、生のステージを観る
のが好きだが、田舎にいると
中々そんな機会に恵まれず、
札幌や函館まで出かけること
になる。

さて、5年前に「こぶし座」
がやってきたときには、駅前
商店街や学校、文化団体はま
だ元気があった。

5年後の昨年は駅前商店街
は新幹線工事の影響で工事関
係者以外に元気な人は見当た
らず、小学校は1つになり、
高校は今年三月で閉校になっ
てしまう。

二〇一五年に新幹線が通る
のはうれしいが、立ち退きに
なってしまった人たちが、木
古内に別れを告げ、函館や北
斗市などに転居してしまい、
人口は間もなく五千人を切り
そうだ。これはピーク時の3
分の1の人口だ。

*

さびしくなったのは人の数
だけではない。生産力、購買
力、文化の担い手もそれに比
例して下がり続ける。

そんな中での「こぶし座」

公演だった。未曾有の被害を
もたらした東日本大震災後で
あり、ふさぎ気味だった気分
の時に、こぶし座の「使者」
がやってきたのだ。

早速、函館の文化団体に所
属している武内洲二氏が実行
委員長を引き受けてくれ公演
に向けて進みだした。

165枚の券売を目標にし
たが、その計画は思うように
進まない状況もあった。

しかし、実行委員に名を連
ねた人たちの努力で、最終的
に200枚近くのチケットを
売りさばいた。

*

公演当日は、わずか15人の
在校生となった木古内高校の
生徒が受付を手伝ってくれた
り、機材の搬出にも力を貸し
てくれた。

終わってみれば大成功だ。
こぶし座の新演目「えびす
舞」は、華やかな衣装に身を
包んだ演者のおめでたい舞で
とてもよかったし「豊年こい
こい」は団員の知恵が生かさ



「豊年こいこい」の一場面

れたすばらしいものであっ
た。

私は「観覧はするが、チケ
ットを売るのはどうも・
・」この先の町で「こぶし
座 in」が実現できるのかど
うか、今その答えを出せない
でいる。

こぶし座のみなさん、すば
らしい公演ありがとうございました。

今年も1年間、体力気力の
維持に励み、全道民に幸せを
運び続けてください。



「いさりび」施設訪問公演の様子

この度の「木古内町公演」と
あわせて渡島総合振興局の交付
金事業として、木古内町が運営
主体の介護老人保健施設「いさ
りび」で施設訪問公演を行いま
した。一般用と高齢者用の公営
住宅が併設され、国保病院とも
繋がっている大きな施設です。

当日は吹雪混じりの悪天候で
したが、公営住宅からの参加者
も含め楽しんでいただきました。

たのしい
芸能ひろばを
ありがとう！

深川市(元座員)
吉田 恵

早いもので退座して15年、
深川の稲作農家に嫁いで15年
になりました。私は三人の子
ども達と元気に暮らしていま
す。

深川の小学校では、五年生
になると米作りの学習をし、
実際に農家に行つて田植えや
稲刈りの体験をします。私の
末の息子が通う深川小学校で
は、収穫した米で子ども達が
ごはんを炊き、お世話になっ
た農家の人を招いておにぎり
パーティーも行っています。

この深川小学校のPTA活
動の一つに、学習部というの
があり、今年度から私が担当
となりました。学習部では、
研修旅行・チャレンジ講座・
家庭教育学級の三つを柱に活
動しています。

私は学習部を引き受けた時
から、家庭教育学級ではこぶ
し座に来て欲しいと考えてい
ました。親だけでなく親も子
も楽しめるものにした、そ
してこぶし座のすばらしい芸
能を多くの人に知ってもらい
たい、とにかくこぶし座に来
て欲しかったのです。
はじめは予算の関係もあ

り、どういう形でお願いした
ら良いのかと、ちよつと悩み
ました。こぶし座を知らなか
った学習部担当の先生は、「す
ごくいい!!(でも)本当に来て
もらえるのですか?」と言
い、つとも、とても力になつてく
れました。

*

そして願いがかない昨年の
12月2日に『PTA学習部こ
ぶし座たのしい芸能ひろば』
と題して公演を実現する事が
出来ました。

各クラスの部員の声掛けも
あつて参加希望者が目標の百
人を超え、人数的に安心はし
ていたものの、この日は小学
校の参観日もあり、部活動や
習いもの、塾と、子どもや親
達もなにかと忙しく、公演時
間が夜だったので当日欠席者
やインフルエンザなど流行で
もしたら大変だと心配でし



みんなで手遊び「三月三日のもちつき」

た。しかも前日はものすごい
吹雪となり、祈る気持ちで当
日をむかえました。

*

それが、朝からとても良い
天気です。会場には一年生から六年生
までの親子連れ、家族・先生
方など沢山集まってくれまし
た。演目の中に皆が参加でき
る太鼓や手遊びの交流もあ
り、さらに獅子舞では会場内
が一つになっているのを感じ
ました。

そして誰もが皆、笑顔で帰
って行く姿を見て本当にうれ
しかったです。一緒に取り組
んだ二人の部員の「たのしか
った!」「大成功だと思っ
た!」の言葉を聞いて、良かったな
あと心から思いました。

それから、終了後に校長先
生が担当の先生に、本当は全
校児童に見せたいと話してく
れたそうです。

*

今年、次男は五年生。田植
え学習がはじまりますが、私
も一緒に関わっていきたく
楽しみにしています。そして
今度はぜひ、米作りの作品の
「豊年こいこい」を深川小学
校で見たいです。

こぶし座のみなさん、本当
にありがとうございました。
また深川に来て下さい。



委員長と握手!(上富良野町)



夕食交流(湧別町)

【上川エリア】11/26～29・12/2

- ・上富良野町/比布町/深川小 PTA
- ・あそか苑

【網走エリア】11/18～23

- ・湧別町/興部町/雄武町
- ・オホーツク園



このバスでお客さんを送迎…スコップ!!(栗山町)



手遊び交流(長沼町)

【空知エリア】12/1,3・12/6～9

- ・長沼町/栗山町
- ・マオイの里/ハローENJOY/ガーデンハウス



「公演には参加できないけど…」と、搾乳の合間をぬって搬入と搬出に…酪農家の実行委員(興部町)



励ましの言葉にジーン…。(雄武町)

旅のスケッチ =公演編=

ひと月にも及ぶ旅巡業!
様々な人たちに支えられて…。



留寿都村

【後志エリア】11/13～17・12/9,12,13

- ・留寿都村/余市町/仁木町/黒松内町
- ・銀河荘/長寿園/かるな和順



余市町



仁木商業高生を加えた「江差のもちつきばやし」

年女、
…語る…。
公演部員(演技者)
村田さつき

「一年の計は元且にあり」
毎年、正月必ず思う言葉だ。

新年は清々しい気持ちで迎

えたいところだが、昨年の未

曾有の大震災。その非常時に

かかわらず、産業界しか見え

ていない政治のあり方。矛盾

だらけの T P P 問題。格差社

会など、清々しくなるにけれ

ない世の中の状況だ。言いよ

うのない不安感、先行きの見

えなさ。

しかし、世も末…と、嘆い

てばかりもいられない。

こんな時、江差の繁次郎な
ら、どんな頓知で、人々の心
を和やかにしてくれるのだろ
うか。
民族芸能。民間伝承。土地
の風習。それらの中に込めら
れた先人達の知恵。公演を通
し、各地域の方々との交流の
中から、学ぶことが最近ます
ます多くなってきている。
今年、座歴 10 年になる上
に年女。

この節目の年をより充実し
たものとして、今後に生かせ
るように、よく考えて行動し、
干支の辰年にあやかっけて昇り
竜のように飛躍する一年にし
たいところだ。

※ 介護老人保健施設公演で
手遊び交流の指導をする
村田さつき(写真右側)

・生年月日

一九七六年五月三十一日

・特技-Jジャンル不問の
腕さきシエフ。

腕さきシエフ。

11月26日(土)に行われた「上富良野町公演」の実行委員の方から、ずっしりと愛情のこもった新米と共に、心温まる嬉しいお手紙が届きました。ご紹介します。

こぶし座の皆様

厳しい寒さが続いています、お元気でご活躍のことと思います。

先日の上富良野公演はご苦労様でした。微力ながらお手伝いさせていただきました、又皆さんと交流できたこと本当に嬉しく思います。

農業は生命の総合産業であり、農村はその創造の場であると言われ、また食糧の安定供給という大きな役割を持っています。

しかし効率化を優先した政策、施策により農業、農村は大きく様変わりし、自然の恵み、作物の成長の喜び、収穫への感謝など、大切な心までも失いつつあります。農業者自らも反省し、又都市住民へ農村、農業に対しての理解がこれからの重要な課題と思えます。

各地に伝わる伝統芸能を通じた活動は素晴らしいものです。益々のご活躍を期待致します。

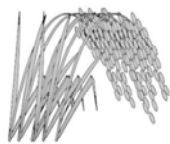
今年には気候的に大変厳しい一年となりました。

次年度に向けて新たな気持ちで頑張りたいと思います。今年の新米「おぼろづき」です。

栽培して5年目になりますが、お賞味下さい。又お会い出来ることを楽しみにしています。

お元気で…

上富良野町・岡和田一廣



栗山町「ガーデンハウス」にて